

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和7年10月30日(木) 14:35～15:30
2. 場 所 盛岡工業高等学校 百年館 第1研修室
3. 出席者氏名
- | | |
|---------|-----------------------|
| 森 達也 | 岩手県立産業技術短期大学校 校長 |
| 和 合 健 | 岩手県工業技術センター 部長 |
| 浅 沼 清一 | エスペロの会(飯岡地区地域連携組織) 会長 |
| 佐々木 康隆 | 盛岡市立飯岡中学校 校長 |
| 中 里 哲夫 | 同窓会 体育後援会副会長 |
| 中 村 知泉 | P T A 元P T A 3学年委員長 |
| 菅 原 基 | 校長 |
| 吉 田 亨 | 副校長(全日制) |
| 菊 池 平 | 副校長(全日制) |
| 湊 慎一 | 副校長(定時制) |
| 田 鎖 充 | 教務主任(全日制) |
| 稲 垣 真紀 | 総務主任(全日制) |
| 高 橋 美智子 | 総務主任(定時制) |
4. 役 割
- | | | |
|-------|-------|------------------|
| [司 会] | 吉 田 亨 | 副校長(全日制) |
| [議 長] | 森 達也 | 岩手県立産業技術短期大学校 校長 |
| [議事録] | 湊 慎一 | 副校長(定時制) |

5. 会議録

(1) 開会

(2) 校長挨拶

学校の近況をお伝えし、挨拶とする。

10/18 にラグビー部が全国大会出場をかけた黒沢尻北高校と対戦し、接戦を制し2年連続の全国大会出場を決めた。全校応援体制で選手を後押しできた。10/25の盛工祭一般公開では、1000人を越える来場者を迎え日ごろの生徒の活動を見ていただいた。10/26に行われた全国産業教育フェア福島大会のロボット競技大会に岩手県代表として出場した。その他にも、ウェイトリフティング部個人6位入賞や、バスケットボール部インターハイ出場など多くの生徒が活躍して学校を活気づけている。また、年末にはラグビー部の全国大会やこれから予選が行われるバスケットボール部の全国大会、12/6盛岡南イオンで行われる匠祭などありますので応援をお願いしたい。

校内では、校則委員会で髪形などの規定を生徒が自主的に決めていくなど、今後も生徒の自主性を育てていきたい。

(3) 学校概況説明

ア 令和7年度中間反省事項(総務部)

(全日制)以下の6点について説明する。

① 広報活動

- ・学校の様子の配信やPRを様々な媒体を使って行っているが、特にインスタグラムの登録者数が伸び、広報活動に役立っている。

② ICT機器の活用推進

- ・教員のスキルの差・インフラの整備等を改善していく必要がある。

③ 体系的な進路指導

- ・計画通り行われて成果を上げている。

④ 生徒指導体制の確立

- ・生徒の自主性を大切に行われている。

⑤ 資格取得支援

- ・手厚く支援が行われ、学校内でも重要視されている

⑥施設管理・安全管理

- ・校舎の老朽化や電力需要の増大などインフラ整備が必要な部分がある。
- ・自転車事故も発生しておりヘルメットの着用の推進を図る方向で動いている。

(定時制) 各分掌について説明する。

- ①総務課 ・全日制と連携を強化
- ②教務課 ・盛岡地区中学校を個別に訪問し生徒募集を強化している。
- ③生徒指導課 ・少人数で手厚い指導を行っている。いじめアンケートを年4回実施
- ④進路指導課 ・卒業該当生徒7名で就職希望4名で、現在2名が内定
- ⑤工業科 ・電気工事士やボイラー技士等の資格取得に励んでいる。

(補足事項) 校長より

【高校再編について】

- ・令和12年度を目途に盛岡南高校跡地へ移動予定
- ・実習棟と部活動敷地について現状を維持出来るか今後の課題
- ・令和10年度に、工業化学科カリキュラムを変更する予定

【ヘルメットの着用について】

- ・来年度入学生から年度進行で着用を義務付けする予定である。

イ 前期「授業評価」について (教務部)

1年生の数学・英語で学び直しの授業を行い、分かりやすさ、満足度で高い評価を得た。また、全学年で行った授業アンケートにおいても、授業内容の分かりやすさで肯定的な回答がほとんどの教科で90%を越えており、高い評価を得ている。今後とも工夫改善を重ね生徒の成長に繋げていきたい。

ウ 3学年進路状況について (副校長)

現在の就職内定状況 管内14、県内18、県外73、合計105の内定を頂いている。例年に比べ県外就職が多い状況にある。

エ 全国総合体育大会結果および各部大会結果 (副校長)

資料のとおり

オ いわて留学について (副校長)

令和8年度入試から、工業化学科でいわて留学の制度を採用する。工業化学科は7年連続定員割れのため、県外から生徒を募集することとした。PR費用など所在地の市町村が補助していることが多いが、盛岡市との調整は上手くいかず厳しい状況になっている。

(4) 協議

- ア 令和7年度学校経営計画及び教育活動計画について
- イ 本校の魅力化、特色化に係る意見交換
- ウ その他

いわて留学について

【委員】 いわて留学の工業化学科の募集生徒は、どのような生徒を想定しているか？

【副校長】 東北6県で工業化学を学べる学校は3校と少ない。工業化学を学びたい生徒に学ぶことのできる環境が少ないことから、学ぶ環境を県外でもできるという事をアピールしていきたい。PRの方法で、県内でも実績のある業者への依頼を考えていたが、費用などの面で厳しい状況になっている。

【委員】 PRを委託するにしても信頼のおける業者をしっかりと見極め依頼して下さい。

【校長】 カリキュラムの見直しと両輪で考えていきたい。

中間反省の評価Cについて

【委員】 中間反省のC評価については、どのような状況になっているのか。

【校長】 生徒指導の件数が多い部分でこのような評価になっているが、学校側の対応としてはやるべきことはやっているの、自己評価が厳しく大きな問題となっているという意味ではない。

校舎移転について (ご意見)

【委員】 この地域としては今まで高校生を見ながら地域の小学生・中学生は成長できていた部分大きい。しかし、工業高校が移転するとその良い点が失われる可

能性がある。地域としても県に訴えていきたいが、学校としても県へ訴えてほしい。

ラグビー全校応援について（ご意見）

【委員】 先日のラグビー全校応援とてもよかった。生徒自身が自ら学校代表の選手を皆で応援するという雰囲気は近年で一番できていた。お互いに応援される事で、良い影響が出ると思うので、今後もこのような機会を作っていってほしい。

寮について

【委員】 寮も建ってからかなりの年数になり、寮の充実も一つのPRになるのではないかと。受け入れ態勢をできる範囲で整えていったらどうだろうか。

【校長】 当然、環境整備は必要であると考えている。

【委員】 もし、女子生徒が遠方から来たら、どうするのですか。

【副校長】 以前あった近隣の下宿は現在なくなっており、近隣学校の女子生徒は、材木町のパンションなどを利用しているようである。バスで通学できるので、もし問い合わせがあればそのあたりを紹介する予定である。

近隣学校との連携について

【委員】 熊出没などの情報は、近隣小学校中学校の方が、県立高校よりも早いので何かあったときには、連絡する方向で考えている。

【副校長】 ぜひ、その方向でお願いします。具体的な方法を詰めてまいりましょう。

(5) その他

次回の運営協議会は2月中旬を予定

(6) 閉会